

# ごまがわら

## 広報



シンボルマーク

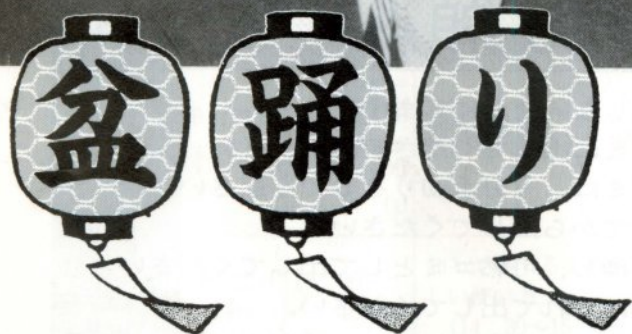
平成7年

9.1

No.838

人口と世帯

8月1日現在 ( )内は前回比、男23,805(+4) 女26,334(-26) 計50,139(-22) 世帯17,170(-1)



市役所前おまつり広場で、8月16日、17日の両日、五所川原甚句盆踊り大会が開かれました。櫓の周りには、涼しさをそそるたくさんのゆかた姿の人々で、踊る輪も二重三重と広がっていました。





# 粗大ゴミ収集（2回目）のお知らせ

〔申し込み日程〕

申し込み締め切り日		地 域 及 び 町 名	
日	曜日		
9 月	4	月	昆沙門・長富地区
	5	火	中 川 地 区
	6	水	三 好 地 区
	7	木	飯 詰 地 区
	8	金	松 島 地 区
	9	土	梅 沢 地 区
	11	月	長 橋 地 区
	12	火	七 和 地 区
	13	水	栄 地 区
	14	木	みどり町1丁目～8丁目
	15	金	小 曲 地 区
	16	土	若葉第1・若葉第2・ニュータウン新宮・芭蕉・新宮・市営住宅・県営住宅
	18	月	中平井町・下平井町・雛田町・敷島町・東雲町・十川町・さつき町
	19	火	寺町・岩木町・錦町・幾島町・柏原町・大町・本町・川端町・上平井町・平井町・末広町・旭町・新町
20	水	第一柳町・第二柳町・元町・栄町・田町・第一千鳥町・千鳥・湊団地町・八重菊・成田町・平和町・日の出町・不魚住	
21	木	一ッ谷・一ッ谷団地・布屋町・弥生町・烏森・東町・鎌谷町・田園町・青葉町	
22	金	松島町1丁目～8丁目	

○申し込み方法が変わりました

班長または町内会長へ  
申し込みは……

◎出してもよい物 ※洗濯機、冷蔵庫、テレビ、ミシン（一般電化製品） ※イス、テーブル（木製を除く） ※自転車、ストーブ、スノーダンプ、ホームタンク

◎名札を必ずつけてください。 ◎上記以外の物は収集しません。

## ゴミ分別のお願い

- 1 収集日には、指定されたゴミ以外は収集しないことにします。
- 2 生ゴミは、次のとおり処置して、可燃ゴミに出してください。
  - ① 家庭の炊事場から出される生ゴミは、充分水切りをしてください。
  - ② 庭の草・木は、完全に乾燥させてから出してください。
- 3 可燃の粗大ゴミは、毎戸において破砕処理し、可燃ゴミとして出してください。
- 4 ゴミは段ボール箱に入れなくて、ゴミ袋に入れて出してください。
- 5 化学肥料袋や農業用ポリは収集しませんので、各自で処理してください。
- 6 不燃ゴミと可燃ゴミを混ぜて出した場合は、収集運搬いたしません。

問い合わせ先

市保健環境課

☎内線269・270・284



# ふるさとのみなさん お元気ですか

(10)

東京など、首都圏在住の五所川原出身者で組織する、「わ・五所川原会」会員の、ふるさとへのメッセージです。



小田原 吉伸さん

(埼玉県所沢市)

A君お元気ですか。人生八十  
年と言いますが、五所川原高校  
を卒業してからももう二十五年が  
過ぎました。これが早いと思う  
か遅いと思うかは別ですが、小  
生の感じと言うとそれこそアツ  
と言う間です。最近通勤の電車  
で高校生を見ると、あのころの  
ことが思い出され、最近の高校  
生は、とついグチッぽくなって  
しまいます。

ところで関東周辺に住んでい  
る高校OBが集まる関東幾代ヶ  
丘同窓会が発足二十年を迎える  
そうです。同窓会の総会と懇親  
会が九月九日、東京で開かれる

そうです。人間でいえば成人式  
というところでしょうか。一つ  
の節目といえるかもしれません。  
万難を排して出る予定です。そ  
んなこともあつてか時々、高校  
時代の風景がなんの脈絡もなく  
心に浮かびます。なぜでしょう  
か。でもなぜかホッとします。  
心の奥に郷愁がひそんでいるの  
かもしれないね。

君もきつと出席してくれると  
思っています。いろんな話をし  
たいですね。そして彼女のこ  
ともぜひ君にじっくり聞きたい  
と思う。今どうしているかも。

## 「わ・五所川原会」 からのお知らせ

東京など、首都圏在住の市出  
身者の親睦交流を図るため、総  
会ならびに懇親会を開催いたし  
ます。ご親戚やご子息など、参  
加を希望される方はご連絡くだ  
さい。

○とき 十月七日(土)  
午後五時三十分

○ところ 銀座レストラン高松  
本店(東京都内)

☎〇三三五四六八一八一  
○会費 七千円(年会費二千元  
含む)

○申し込み 九月二十二日(金)  
までに市総務課 ☎内線  
三二二五へ



## 交通安全で 八団体に感謝状贈呈

八月三日に五所川原警察署(成  
田長八郎署長)で、本年上半期  
(一月〜六月)の五所川原警察  
署管内における人身交通事故の  
発生件数、負傷者の減少及び交  
通事故死者数の抑止に功績のあ  
った団体等に感謝状が贈られま  
した。表彰団体は次の通り。

五所川原市役所総合サービ  
ス課、五所川原交通安全協会、五  
所川原地区交通指導隊、五所川  
原市交通安全母の会連合会、五  
所川原地区安全運転管理者協会、  
五所川原地区安全運転管理事業  
主会、鶴田町交通安全協議会、  
鶴田町交通安全母の会連合会。

## 交通安全は家庭から 交通事故概況

(平成7年8月20日現在)

五所川原市交通安全対策協議会

	県内	五所川原市管内
発生	5,008 (+8)	181 (-41)
死者	86 (+12)	5 (+1)
傷者	6,117 (-103)	221 (-43)

( )内は前年対比。

シートベルト しめる心が 身を守る

## 善意の花かご

—どうもありがとうございます—

ごさいます

◎助五所川原市体育協会基金へ  
○山谷富男さん、山谷清知さ  
ん 〓五万円。

◎五所川原市社会福祉協議会へ  
○五所川原地区更生保護婦人  
会(齊藤千恵子会長) 〓五  
万円。

○竹谷美和子さん(蘇鉄三二  
一七) 〓三万五千元。



◎養護老人ホームくるみ園へ

○若葉町内会(島谷丈代表)  
〓寄贈(お菓子五十袋)。

◆お詫びと訂正

八月十五日号でお知らせしまし  
た、麻疹、風疹、三種混合ワク  
チン接種実施医療機関及び受付  
時間表の永田小児科内科医院・  
午後一時から午後一時三十分  
に訂正してお詫びいたします。



# 明治初期の神仏分離と五所川原

近・現代部会 田中秀和

明治初期の神仏分離は、王政復古の大号令によって樹立された明治新政府が、祭政一致の政治理念から、神道を国教とする方針を打ち出したことにもなっている。この政策の目的は、中世以来

神仏混淆という神と仏が混じっていた神社から、鯉口などの仏教的要素を取り除き、神道に純化したうえで、石や仏像など多様なご神体を祭っていた村の社を伊勢神宮を頂点とする神社の体系に組み込むことにありました。

従来、神仏分離は廃仏毀釈と同義と解釈され、仏教を廃滅しようとする一過性の暴挙であると考えられる傾向がややもすればありました。しかし現在では、神仏分離は氏神の変化のみならず、民俗的な諸々の慣習を変えさせ、日本人の精神史に根本的な大転換を起こしたと考えられています。

さて、弘前藩では、明治維新の諸政策が緩やかに行われたた

め、神仏分離もまた同様に緩やかになされたと考えられました。

なるほど、神仏分離に際して村人が反対し、紛争になっていくのは弘前藩全体の中でも四件に過ぎません。しかし、一方、藩は領内の神社数を一村一社にすることを方針に進めていきます。つまり、津軽地方の神仏分離の本質は神社整理にあったといえます。しかもこの一村一社の方針は、のちの日露戦争後の全国的な神社整理政策で打ち出されたものと同様の、神仏分離の法令にもない、強力なものであったのです。

ところで、五所川原市高野は、弘前藩内では数少ない紛争の起こっている事例として貴重です。神仏分離の様子を知る「神仏混淆神社調査書」（弘前市立図書館所蔵）によれば、高野村牛頭天王は、社号が仏教的なので神仏混淆を改めて広峯神社とし、末社観音堂は廢社、ご神体となつてゐる仏像を上納するよう村

中で相談しました。ところが村人のうち清兵衛・孫十郎・重助の三人がこれまで通りに祭りたことと反対したことがわかります。これ以上のことは不明ですが、彼ら三人の反対の理由は一体どういうことだったのでしょうか。

弘前藩  
神佛混淆神は御帳 乾  
五所川原  
高野村

と申す  
一年前三月 日本に於て  
右の神は五所川原に  
左の神は五所川原に  
右の神は五所川原に  
左の神は五所川原に  
右の神は五所川原に  
左の神は五所川原に

近隣の相野村（現森田村下相野）は、高野村と並んで反対運動の起こつたところ。そこで、下相野村での事件からその反対理由を探っていきましょう。

明治三年（一八七〇）六月から下相野村では飛竜宮の神仏分離が神職の手によって開始されますが、村中の反対にあいませ

その大きな理由は、同宮のご神体が貞享年間（一六八四〜八八）から信仰してきた如意輪観音で、数百年間信心してきたのだから、このまま崇敬させて欲しいというものでした。そして強いて神仏分離を実行しようとすれば村人によって神社が破壊されたり、ご神体の仏像が盗み出されるかもしれないと、庄屋宅の蔵へ納めることまでしているのです。

（『津軽新田記録』第二巻、西北印刷、一九八四年）  
このように今まで自分たちがお金を出し合い、祭ってきた神社が勝手に取り上げられ、ご神体が変わられてしまうことに對する不満が民衆側の反対の理由であったといえます。

ところで、弘前藩の神仏分離政策の方針は、新政府の法令に拠りながらも「御国表都合同」、すなわち藩の政策に合わせて行われたことがわかっています。それはどういふものでしょう。

江戸幕府も十九世紀に入ると揺らいでくるように、弘前藩でも藩の体制が揺らいできます。そのような状況の下で宗教は藩社会の動揺を押さえ、藩体制の危機を克服するための精神的支

柱としての意義を強くもつてくたつたのではないかと考えられます。先ほど述べた弘前藩の神仏分離における一村一社の神社整理の方向性は、鎮守を中心とした村の精神的支柱を確固としたものにさせるといふ十九世紀からの宗教政策の延長上にあつたと思われまふ。そしてそれは一方で村の指導者層や民衆の側にも一定の合意をもつて迎えられるのではないのでしょうか。それが弘前藩の神仏分離が一見したる民衆の抵抗もなく「緩やか」になされたようにみえることとも関係するものと思われまふ。

ただ、この方針は明治四年（一八七一）年末、廢藩置県によって藩が消滅して県が実務を開始することによって終焉します。その後神職は廢止され、新たに神官として任命されたり、帰農したりしました。神社にも官幣社・国幣社から県社・郷社・村社・無格社の格付けが行われていきます。

その後、紆余曲折を経て現在に至りますが、このように江戸時代から明治時代にかけての道筋は長く、決して平たんではなかつたのです。



・新受入図書のご案内・

市立図書館 ☎34-4334

秋の夜長、虫の音とともに読書に親しんではいかがですか。

農業の本、音楽の本、ことばの本、歴史の本、子供の絵本など、たくさん新しい本が入りました。図書館は、土曜、日曜も開いていますから、お気軽にご利用ください。

書名	著者名	書名	著者名
縄文人のくらし (全6巻)	学研	知識の絵本	岩崎書店
ニラムおじさんのくちべ てみよう「あれ」と「これ」	農山漁村文化協会	うたのえほんシリーズ	国土社
農林水産業はすてきな仕事	文研出版	のりものえほん	小峰書店
資料のよみ方 つくり方	ポプラ社	にっぽん怪談クラブ	あかね書房
アミちゃんの手芸ランド	大日本図書	こころからだいのちのえほん	岩崎書店
オクターブくんの がっきたんけん	"	世界の文学シリーズ	あかね書房
かこさとしの食べごと大発見	農山漁村文化協会	おはなしカーニバル	借成社
おもしろことばのせかい	大日本図書	エリック・カールの本	"
「障害」について 考えよう	ポプラ社	いわさき創作童話	岩崎書店
わたしにもできる リサイクル	学研	ムーンミン えいごじてん	旺文社
図書館建築 22選	図書館計画 施設研究所	アトビーにもやさしい綿 100%の赤ちゃんニット	野田 恭子
クイズ日本人 の質	N H K	ちりめん細工の袋	花房 マサヨ 昌古
精神分析事典	シンゴウ カズネ 新宮 一成	366日誕生花の本	タケイ 瀧井 康勝
奥羽越列藩同盟	星 亮一	庭の花たち	ナンバ 難波 光江
近代中国の不死鳥	リチャード・ エバンス	最新犬種 スタンダード図鑑	コムコウ マサシ 小向 正司
現代都市の行動学	レンカ 蓮花 一己	イヌの カウンセリング	ブルース・ フォォーグル
女子能力を活かせない 会社は減じてよい	ヨシキ 玉置 吉喜	テレビと権力	清水 英夫
素敵な死にじたく	ハルヨ 井上 治代	絵を蒐める	福富 太郎
母を失うこと という	ホープ・エ ーデルマン	山田かまち作品集	山田かまち
チャイニーズ・ マザー (上・下)	ステイブン・ W・モッシャー	しあわせはいつも	アイダ 相田みつを
ホームレスの詩	ツネコ	新トロイア物語	阿刀田 高
それでも学歴を 追い求めるのか	森 ヒロ 均	われら冷たき闇に	藤堂志津子
アメリカ遊学から 永住権まで	秋山 愛子	狙われた羊	中村 敦夫
いじめる 親にできること	ワカヨ 安達倭雅子	絹の道	平岩 弓枝
世界昆虫記	今森 光彦	菊	マサキ 宮尾登美子
住まいの 建築家百科	新日本 建築家協会	夜に忍びこむもの	渡辺 淳一
毎日のすてき	ユウユウ 王 由由	思い出株式会社	土屋 嘉男
女の子の毎日の服	文化出版局	本が好き 悪口言 うのはもつと好き	高島 俊男
男の服は 自分で選べ	矢島タケシ	FBI心理分析官	ロバート・K ・レスラー



仮装七福神の貫録充分な踊り姿



負けじとがんばる仮装の入園者



時がたつにつれ、踊りにも熱気が入る



踊りつかれたら、ちよつと一休み



おにぎり、おでん、ソーセージコーナーは大繁盛



見事な手つき、足さばきを披露する  
おまつり大好きな中学生 福士裕郎君

くるみ園で盆踊り大会

市立養護老人ホーム

くるみ園で、八月十八日夕刻より、恒例となった盆踊り大会が開かれました。大会には、老人クラブ連合会芸能部、五所川原甚句保存会、下平井町内会婦

人部の踊り、鎌谷町内会婦人部の仮装、原建設の櫓設置、千光電気の提灯設備など多くの地域市民団体からの協力がありました。また、百人の一般参加者

があり、お年寄りとともに、夏の夜のひとときを盆踊りで楽しく過ごしました。



# お知らせ

平成7年度

## 市合同金婚式

対象ご夫婦はお申し込みを

めでたく結婚50年を迎えられた長寿ご夫婦を心からお祝いするため、今年も合同金婚式を開催します。



あの日から50年たちました

- ▶対象夫婦 婚姻以来50年（昭和20年婚姻）を経過したご夫婦
- ▶申し込み締め切り 9月18日（月）  
注）前回掲載の締め切り日が変更になりました。開催の日時、場所については、追ってお知らせします。
- ▶申し込み 市福祉事務所高齢者対策課又は各支所窓口へ
- ▶問い合わせ 市福祉事務所高齢者対策課  
☎内線210・294

## 母子家庭・寡婦及び父子家庭 介護人派遣事業について

この制度は、母子家庭・寡婦及び父子家庭の福祉の増進のために、無料で介護人を派遣し、必要な介護、保護及び家事援助を行う制度です。

- ◆派遣の対象となる方は、次のとおりです。
  - 母子家庭、寡婦及び父子家庭で一時的な病気やけがのために日常生活に支障があり、介護や保育を行う者がいない方。  
（派遣期間は1日ないしは数日）
  - 父子家庭になってからおおむね6か月以内の家庭で、特に家事の援助が必要な方。  
（派遣期間は週1～2日の派遣で6か月間程度）
- ※ ただし、いずれの場合も所得の制限があります。（児童扶養手当法の所得制限適用）
- ◆申し込み先 福祉事務所福祉課児童係
- ◆問い合わせ 福祉事務所福祉課児童係  
☎35-2111 内線286  
青森県母子寡婦福祉連合会  
☎0177-66-7761

五所川原市役所 ☎35-2111

## にぎわいの街500人委員会 経過報告

提言内容について、次に主な事例をご紹介します。

### 福祉部会 元気高齢者による 福祉の街づくり委員会

#### 提言内容【1】

福祉への取り組みについて

- 例. (1) 自分の意志で高齢者が手をつないで共同の力を作り福祉を考えていかなければならない。
- (2) 学生として自分たちでできることを何かしたい。高齢者の方はいろいろな経験をしているので学ぶことが多い。高齢者の方々とふれあいの場がほしい。
- (3) 先進国なみの福祉法を作り、五所川原市を先進国なみの福祉都市にしていきたい。

#### 現在の取り組み状況等

社会福祉協議会が中心になって近隣住民が簡単な家事援助や話相手になる等しながら日常活動を支援する活動を育成する事業（友愛訪問事業等）を実施し今後さらに充実させるための啓発活動を推進していきます。

行政としては公的福祉サービス等行政の計画や施策についての普及・啓発を図り、同時に住民組織との連携と主体的、自発的活動を支えるための公共施設の整備を図っていきます。住民の方々は、地域社会を自ら再点検し課題について住民間で話し合い解決・実現のための具体的活動を実践することが望まれます。

（事業内容等の問い合わせ先～福祉事務所高齢者対策課、市社会福祉協議会）

#### 提言内容【2】

世代間交流について

- 例. (1) 元気なときに福祉活動等へ参加していきたい気持ちがあるので、福祉人材センター等を設け、社会に私たち高齢者が力を提供できる場がほしい。
- (2) 一人暮らし老人を行事に招待したが参加者が少なかった。そこでこちらから出向くとたいへん喜んでくれたことから、出前型の交流が大切だと痛感した。

#### 現在の取り組み状況等

高齢者の豊富な経験と若い世代の行動力がともに協力し合うことが不可欠であり、各事業の中に可能な限り高齢者、青年層及び学生の参加を促し交流活動を展開していくことが必要です。また高齢者の社会参加や職業能力の活用については、シルバー人材センターの充実を促進するほか、生涯学習や福祉教育の強化・充実に努めています。

（事業内容等の問い合わせ先～福祉事務所高齢者対策課、教育委員会、市社会福祉協議会）

平成7年9月1日 6



# 秋の家出少年発見保護活動 及び福祉犯取締り強化月間

▶実施期間 9月1日から1ヵ月間  
例年夏休み明けの9月に家出少年が増加し、これに伴い福祉犯も多発するため、早期発見保護し、少年の福祉を害する犯罪の取締りを重点的に推進し、少年の非行防止と健全育成を図ることを目的としております。

- ☆ 家出少年に暴力団の手が伸び被害にあっています。
- ☆ テレクラ・ツーショットダイヤルで福祉犯の被害が増加！

## 子供を家出させないために

- 明るく温かい家庭づくりに努めましょう。
- 親子の対話を多くし、子供の悩みを聞いてやりましょう。
- 子供の前では夫婦ゲンカをやめましょう。

## 子供が家出したら

- 家出に気付いたら一刻も早く警察へ届けましょう。

## 家出少年を見かけたら

- 警察署・交番・駐在所へ連絡してください。

▶相談は ○五所川原警察署 少年相談係  
☎35-2141 (警察署) ○ヤングテレフ  
オンコーナー ☎0172-35-7676 (弘  
前署) までお気軽にどうぞ。

# 9月9日は「救急の日」

あわてず 正確に!!  
119 救急車は正しく 利用しましょう

あなたが通報するとき  
次の要領で、ハッキリと 通報してください

1. 火事が救急か
2. 場所 は (病人・けが人の状態は)
3. 大きな目標は
4. 何が燃えているのか
5. あなたの名前と電話番号は

# ◆子ども人権オンブズマン◆

「子ども人権110番」開設中

- ▶子どもの人権専門委員  
太田啓子委員 ☎34-4274
- ▶連絡先 青森地方法務局人権擁護課内  
☎0177-74-1020 (着信専用)

# 市税の納期

- ▶固定資産税第3期納期限 10月2日
- ▶国民健康保険税第3期納期限 9月30日

# 老人医療受給者の皆さんへ

## 老人保健標準負担額減額認定証について

1. 当該減額認定証の有効期限が到来した場合において再度認定を受ける必要があるときには、再度申請をお願いします。
2. 保険医療機関等に入院する際に、当該保険医療機関等の窓口で、受給者証、被保険者証とともに、当該減額認定証の提示をお願いします。
3. 長期非該当者が、保険医療機関等における入院日数が90日を超えた場合には、再度減額認定証の交付申請をお願いします。
4. 減額認定証の記載事項に変更があった場合には、速やかに提出をお願いします。
5. 転出、転入、死亡、障害不該当の場合には、速やかに減額認定証の返納をお願いします。

## 入院時の食事に係わる標準負担額一覧

老人医療受給対象者の分類		1日当たり標準負担額
一般の老人医療受給対象者 (申請の必要がありません)		600円
低所得者世帯に属する老人医療受給対象者	過去1年の入院期間が90日以下(長期非該当者)	450円
	過去1年の入院期間が90日超(長期該当者)	300円
低取得者世帯に属する老齢福祉年金受給権者		200円

※ 詳しいことは、国保年金課老人医療係 (☎35-2111番 内線 264番) までお問い合わせください。

## 診療費の状況(平成6年度)

1人当たり月平均診療費			
計	入院	入院外	歯科
48,126円	27,552円	19,196円	1,378円

1人当たり年間診療費	
平成4年度	536,376円
平成5年度	541,692円
平成6年度	577,512円

健康管理は自分自身のためです  
定期的に健康診査を受けましょう



# オルテンシア9月の催し案内

ふるさと交流圏民センター ☎33-2111

	月日	曜	催し物	開演	入場料
大ホール	9/3	日	木造高校 プラスバンド演奏会		
	9/5	火	五所川原第一中学校 定期演奏会	18:00	
	9/9	土	青森県青年大会 開会式	10:00	
	9/10	日	一戸和久 ピアノコンサート	17:30	無料
	9/17	日	青森県民文化祭 総合フェスティバル	13:00	無料
	9/20	水	五所川原工業高校 芸術鑑賞	10:00	
	9/22	金	桂 須磨子 ショー	9:40	当日 500円
	9/23	土	青森県合唱祭	10:30	当日 500円
	9/30	土	少年少女合唱団 定期演奏会		無料
	小ホール	9/3	日	吉田純子 発表会	14:00
9/5		火	パーカッショングループ 「ファルサ」コンサート	18:30	会員券
9/8		金	五所川原高校 定期演奏会	18:00	無料
9/9		土	用木大会	13:00	無料
9/16		土	パーカッショングループ 「ファルサ」コンサート	19:00	会員券
9/22		金	五所川原商業高校 吹奏楽演奏会	17:30	整理券
9/24		日	小川鯛子 モダンバレエ 第15周年記念発表会	14:00	無料

## 五所川原おや子劇場例会

### パーカッショングループ 〈ファルサ〉コンサート

マリンバを中心とする打楽器を使って、クラシックや現代音楽のほか、ジャズやポピュラーなどいろいろな音楽を演奏するグループで、1979年に弘前で結成。今年で16年目を迎え、1992年には青森県芸術文化奨励賞を受賞した実力派グループです。



▷とき 〈低学年（幼児～小3）の部〉

9月5日（火）18時30分開演

〈高学年（小4～大人）の部〉

9月16日（土）19時開演

▷ところ ふるさと交流圏民センター（オルテンシア）

▷お問い合わせ 事務局（本町50の4—東奥日報支局4F） ☎34-2170

※会員募集中

# 催し

## ふるさとの明日をひらく 第5回青森県民文化祭 総合フェスティバル

▶とき 9月17日（日）13時～15時30分

▶ところ ふるさと交流圏民センター

▶入場料 無料

### ■プロローグ

津軽三味線 まんじ流家元 工藤満次  
登山囃子 荒吐会

### ■第一部 式典

ファンファーレ 指揮／高橋伸光、演奏／  
西北五地区吹奏楽連盟

開会宣言 五所川原市文化振興会議会長

開会あいさつ 青森県民文化祭実行委員会  
会長

祝辞 青森県知事、青森県教育委員会  
教育長

ポスター入賞者表彰 最優秀賞1名、優秀  
賞2名、佳作賞3名

歓迎のことば 五所川原市長

県民文化祭テーマソング「友よ、明日が」

指揮／高橋伸光、演奏／西北五地区吹  
奏楽連盟、合唱／五所川原合唱団

エンディング 指揮／高橋伸光、演奏／西  
北五地区吹奏楽連盟

### ■第二部 合唱組曲「津軽交響詩」

詩／渋谷 聡、曲・構成／坂崎隆浩

一幕 津軽の息吹（ツガル発信・ガイヤ受信）

二幕 MA 2095年水の星地球を救え

（オールコスモスへ）

出演者 指揮／坂崎隆浩、ピアノ／中谷  
美智子・会津育子、シンセサイ  
ザー／館山比都美、パーカッシ  
ョン／吉田勝弘、朗読／渋谷聡

（団体）五所川原小学校合唱部・栄小学  
校合唱部・中央小学校音楽部・五所川  
原第一中学校合唱部・鶴田中学校合唱  
部・五所川原高等学校音楽部・五所川  
原少年少女合唱団・五所川原合唱団・  
つがる有志団体・空と羽・クレインコ  
ーラス・コーラス華

（郷土芸能）十三の砂山保存会・荒吐会  
（独唱）野宮真寿美・五十嵐由香・柴田  
瞳・田中美歩・三橋大輔・今岡和志

（進行）木村和彦・竹浪正顕・佐藤浩美  
・三橋一志



## 第15回

オガワ<モダンバレエ>スタジオ  
モダンダンス

### 定期発表会

- ▶とき 9月24日(日) 14時開演
- ▶ところ ふるさと交流圏民センター  
小ホール
- ▶入場料 無料

## 募 集

### 朗読奉仕員養成講習会 を実施します

- ▶日時 10月6日(金)から11月21日(火)までの10月10日、11月3日を除く毎週火曜日及び金曜日に開催(日数12日)し、時間は午後1時～4時まで
- ▶場所 弘前市蔵主町4 県弘前合同庁舎
- ▶講習内容
  - ・声の図書の知識
  - ・朗読の方法及び実技
  - ・身体障害者福祉概論 その他
- ▶受講資格
  - ・視覚障害者の福祉に理解と熱意を有する方
  - ・高卒程度の学力を有する方(ただし、学生は除く)
- ▶定員 10名以内
- ▶受講料 無料
- ▶申し込み及び詳しいことは、青森県立点字図書館 ☎0177-82-7799
- ▶申し込み締め切り 9月6日(水)
- ▶受講決定 提出された「自己診断表」等をもとに受講の適否を決定する

### 後期市民弓道教室

中学生から高齢者まで弓道会の高段者が親切に指導いたします。初心者大歓迎。気軽においでください。



- ▶期間 9月5日から10月31日まで
- ▶時間 毎週火・木・土曜日 19時～21時
- ▶場所 三道会館2階弓道場(市役所隣)
- ▶問い合わせ 新町 成田印店 ☎35-1083
- ▶主催 五所川原弓道会
- ▶その他 (1) 受講料は無料です。  
(2) 弓具は備え付けのものがああります。

## 第6回 ごしょがわら牧場

### 収穫グルメまつり

- ▶とき 9月23日(土) 秋分の日  
開会式 10時
- ▶ところ 毘沙門牧場広場、新農業センター<イベント>
- イモ掘りコーナー
- とうもろこしグルメ  
ゆで、焼きとうもろこしの試食
- 五所川原牛焼肉グルメ  
牛肉 300g、野菜のセットで1,000円です。炭火焼の用意をしております。
- にじますのつかみどり  
無料：ただし、中学生までの参加  
\*ほかに、まと当てゲーム、牛の体重当てクイズ、野菜・花の即売、農業センター施設の参観など。  
※津鉄毘沙門停留所～会場間送迎バスがありますのでご利用ください。
- ▶問い合わせ 広域新農業センター ☎37-2104  
\*農業センターでの栗ひろい(300円/kg、1人2kgまで)は10月10日まで行っております。

### 第2回 五所川原市長杯 弓道大会開催

昨年、市制施行40周年を記念して行われた当大会を今年も次のとおり開催することになりました。選手並びに応援見学の方をお待ちしております。

- ▶とき 9月10日(日) 9時
- ▶ところ 五所川原工業高等学校弓道場
- ▶参加資格 市民または市内の職場で働いている方。五高、五工高、中里高、金高、鶴高、木高、板高の弓道部員。
- ▶競技種目 団体戦、個人戦
- ▶団体編成 1チーム3名(年齢、性別の制限はありません)個人で申し込まれた方は事務局でチーム編成を行います。
- ▶競技方法 座射 各選手四ッ矢2回、計8射
- ▶表彰 団体 5位まで。1位には五所川原市長杯を授与する。  
個人 高校以下 男子 5位。女子 5位まで。  
一般 男子 3位。女子 3位まで。
- ▶参加料 高校生以下 1名につき300円  
一般 1名につき500円
- ▶申し込み問い合わせ先 市内新町成田印店 ☎35-1083
- ▶主催 五所川原弓道会



## 働く婦人の家生活講座 老人介護講習会受講生募集

～介護の仕方を基本から学び就職に役立ててみませんか。全課程を修了した方には婦人少年協会より修了証書が出ます。～

▶とき 9月11日～14日 9時30分～15時30分

▶講師 和島路易子（日本赤十字社青森県支部赤十字家庭看護教師）

※18日～26日までの6日間の追加講座を受講するとホームヘルパー3級の修了証書が交付されます。

## 近世古文書解読講習会

歴史に関心のある方、古文書を読みたい方、どなたでも気軽にご参加ください。

▶とき 9月24日（日）10時～15時

▶ところ 市立図書館2階

▶主催 市教育委員会・北奥文化研究会

▶講師 豊島勝蔵氏（五所川原市史編集委員）  
小山英治氏（北奥文化研究会事務局長）

▶定員 30名（定員になり次第締め切ります）

▶受講料 500円（資料代として当日受付）

▶申し込み先 市教育委員会・生涯学習課  
☎（内線 250）

## 出稼者及び留守家族激励会

▶とき・受付 9月8日（金）9時30分から

▶ところ 市中央公民館（大ホール）

▶問い合わせ 市出稼協会事務局（総合サービス課）☎35-2111 内線 281

## 過激派のテロ、ゲリラの根絶を

過激派は、爆発物や巧妙な発火装置等を使用し、「テロ、ゲリラ」事件を昨年8件、本年も既に7件引き起こすなど、市民生活に脅威を与えております。

「テロ、ゲリラ」を実行している秘密部隊員は日頃善良な市民を装い、巧妙に市民生活に潜んでおり、また、爆発物等の武器を隠れ家などに保管しております。

身近で「変だな。おかしいな。」と思うことがありましたら、警察署または最寄りの交番・駐在所にお知らせください。  
五所川原警察署  
☎35-2141

## 女性と知事の 「輝くあおり新時代」フォーラム 参加者募集

～女性の声を県政に！～

県では、女性に県政をもっと身近な問題としてとらえ、理解を深めていただくとともに、女性の視点から広く県政全般に対する意見・提言を聴き、県政に反映させるために、「女性と知事の『輝くあおり新時代』フォーラム」を実施します。

参加者を広く募集しておりますので、御希望の方は下記に基づきお申し込みください。

▶とき 9月27日（水）14時～17時

▶ところ 青森市（県庁西棟8階：大会議室）

▶募集対象者 県内在住の20歳以上の女性で、県政に関心のある方

▶募集人員 50人（応募者が定員を超えた場合は、抽選になります）

▶応募方法 往復はがきの往信に、①住所（郵便番号）②氏名③年齢④職業⑤電話番号を記入し、余白に⑥「女性の視点からの県政へのひとこと提言」（100字以内）をお書きください。また、返信には住所・氏名を御記入のうえ下記の応募先までお送りください。

※（提言例）男女平等、地域活性化、福祉、医療など。

▶応募先 〒030-70 青森市長島1丁目1-1 青森県広報広聴課 女性フォーラム係  
☎0177-22-1111 内線2208

▶応募締め切り 9月14日（木）当日必着

## 経理事務（商業簿記3級） 長期技術講習会受講者募集

婦人の就業に必要な技術講習を行い、就業援助を図る為に講習会を行います。

▶応募資格 経理事務等の就業を希望する婦人で、全日程を出席できる人。

▶とき 7年10月2日（月）から11月17日（金）迄の21日間で9時30分から15時

▶ところ 市働く婦人の家

▶講師 木村明子（木村簿記経理学校講師）

▶募集人員 20人

▶受講料 無料（但し教材費1,700円）

▶申し込み（実施主体）青森県婦人就業援助センター ☎35-8898 担当荒木関

▶申し込み期間 9月4日（月）から20日（水）の9時から15時（土・日を除く）





## 身も心もさっぱりする 健康相談室へどうぞ

保健婦が相談に応じています

- ▶ **対象** 市内にお住まいの方で、ご自身又は家族の健康のことで心配されている方
- ▶ **内容** 血圧相談、病気の相談、心の相談  
健康についての話
- ▶ **持参するもの** 健康手帳（お持ちの方）

開催場所	開催月日	開催時間	はなしのテーマと時間
新宮集会所	9月11日 (月)	13:00~ 15:00	知って得する薬の正しい使い方 (14:30~15:00)
森の家	9月11日 (月)	10:00~ 12:00	もう悩まない~膝・腰痛にやさしい生活 (10:00~10:30)
姥苅集会所	9月13日 (水)	10:30~ 12:00	もう悩まない~膝・腰痛にやさしい生活 (10:30~11:00)
長富消防センター	9月14日 (木)	10:30~ 12:00	膝の痛みをとる~関節を強くするくらしの工夫~ (11:30~12:00)
松島会館	9月20日 (水)	10:00~ 11:30	尿がおしえる体の調子(当日は尿検査実施) (11:10~11:30)
田川集会所	9月20日 (水)	10:30~ 12:00	膝の痛みをとる~関節を強くするくらしの工夫~ (11:30~12:00)
コミュニティセンター 栄	9月21日 (木)	子供の相談 10:00~ 12:00 成人病の相談 13:00~ 14:00	個人相談実施
しきしまコミュニティセンター	9月22日 (金)	13:00~ 15:00	知って得する薬の正しい使い方 (14:30~15:00)
下岩崎公民館	9月22日 (金)	13:00~ 14:30	自律神経失調症かなと思ったら~自己を知って予防法を知る (14:00~14:30)

## 献血のご案内

献血をしてくださった方には、肝臓・腎臓などの内臓機能の働きを調べる血液検査を行い、後日結果をお知らせします。

※生化学的検査をサービスしています

期 日	時 間	場 所
9月8日 (金)	10:00~ 11:30	小曲農村婦人の家前 (赤十字奉仕団小曲分団協賛)
	13:00~ 14:00	旧松野木小学校前 (赤十字奉仕団長橋分団協賛)
	14:15~ 15:00	五所川原市農協長橋支所前 (赤十字奉仕団長橋分団協賛)

## みんなの健康教室

- ▶ **と き** 9月22日(金) 13時から
- ▶ **と ころ** 市保健センター 3階ホール
- ▶ **講 師** 白戸 千之 先生  
(白戸胃腸科外科医院)
- ▶ **テ ー マ** 家庭の健康と幸せ
- ▶ **主 催** 北五医師会・市民保健協議会

## 国民年金基金に 加入しませんか

国民年金基金は、自営業など国民年金の第1号被保険者の方々のより豊かな老後のために、基礎年金に上乘せして年金を支給する、「公的な」年金制度です。サラリーマンが受け取る厚生年金並みの老後保障を実現します。給付の型もいろいろで、また加入口数も年に1回変更できるので、ご自分の将来設計に合わせた年金を組み立てることができます。

### ☆基金加入によるメリット

- 掛金は全額、社会保険料控除の対象となり、所得税や住民税が軽減されます。
- 受け取る年金には「公的年金等控除」が適用されます。
- 4月に、翌年3月までの1年分の掛金を前納すると、掛金が引き下げられます。加入時の年齢が若いほど、掛金の負担が少なくなります。

なお、第1号被保険者であっても、次に該当する人は加入できません。

- 農業者年金基金の加入者。
- 国民年金の保険料を滞納していたり、免除されている人。

詳しいことのお問い合わせは

青森県国民年金基金 ☎0177-77-1700

五所川原市役所 ☎35-2111



## イベントプログラム

- ◆9:15 オープニングセレモニー
- ◆11:00 テレビ人気キャラクターショー  
(重甲ビーファイターショー)
- ◆12:00 入場者抽選会 (景品どっさり!)
- ◆13:00 五所川原なんでもクイズ
- ◆14:00 ビーファイターショー 2回目
- ◆15:00 閉会式
- ◆9:45~15:00  
動物ふれあい広場  
(里親になっていただける方に子犬をプレゼント)  
乗馬体験コーナー (サラブレッド)  
プロの訓練士による犬のしつけ教室  
魚釣り大会・リンゴ皮むき競争  
その他イベントが盛りだくさん!

## イベント内容

- フリーマーケット (古着・古本・食器類)
- フレッシュ市場  
(西北五・中弘南市町村の民芸品・特産品が勢揃い)
- 岩木川学習コーナー  
(降雨体験コーナー・ビデオ上映・パネル展)
- スポーツ広場  
(ゲートボール大会・グラウンドゴルフ大会・風揚げ大会・ドッジボール大会 その他)
- 地酒銘柄当てクイズ
- 豚汁の無料サービス
- 動物ふれあいフェスティバル'95  
(北五獣医師会協賛)
- みそフェスタ青森'95
- その他



# 岩木川河川まつり & コスモスまつり

★とき 9月15日【金】(敬老の日)  
9:15~16:00

★ところ 五所川原市岩木川河川敷右岸  
(乾橋上下流)

家族そろって思いっきりエンジョイ!!



- 主催 岩木川河川まつり実行委員会
- 後援 建設省青森工事事務所・浅瀬石川ダム管理所・津軽ダム工事事務所・岩木川漁業協同組合・五所川原市・五所川原商工会議所・五所川原市観光協会・五所川原市農協・七和農協・五所川原市自主流通米推進協議会・青森県米穀小売商組合・五所川原市商店街振興組合連合会・東奥日報社・陸奥新報社・青森放送・青森テレビ・五所川原ロータリークラブ・五所川原中央ロータリークラブ・五所川原ライオンズクラブ・五所川原東日流ライオンズクラブ・五所川原中央ライオンズクラブ



●問い合わせ先

五所川原市役所都市建設部建設課 0173(35)2111 内線232

★駐車台数が限られています。お車でのご来場はなるべくご遠慮ください。